

東海大学放送研究部 OB 会

第19回 定期総会 議事録

場所：東海大学代々木キャンパス 4号館 4414教室

July 12, 2025 Sat.

東海大学校歌

作詞：松前重義

作曲：信時 潔

1. 銀漢遠く星清く
無限の彼方仰ぐとき
高き理想の星影を
求めてここに十余年

2. 西には遠く富士の峰
東に筑波山の波
代々木の台にそびえたつ
見よ東海の^{まなび}学び舎を

3. 人は虚栄の夢深く
真理の光^う失するとき
今ぞまことの道^{ひら}拓く
ここに我等の使命あり

4. 協力^{ゆくて}勇氣わが誇り
行^{ゆくて}途に暗き雲あるも
進め若人いみじくも
魂^{たま}の鼓^{つづみ}を打ちならせ

建学の歌

作詞：松前 重義

作曲：松前 紀男

1. 声なく教^ふう富士ヶ嶽^{がたけ}
海^{かい}濤^{とう}叱^し咤^{った}す太平洋
三保の松ヶ枝下にして
我等が母校ここにあり

2. 聲^{かお}りは高^{てっ}し鉄舟寺^{しゅうじ}
偲^{しの}べ古武士の面影を
その殉^{じゆん}国の誠^{こく}をば
先^{せん}哲^{てつ}の聲ここに聞け

3. 古^{だくりゆう}き歴史の濁流を
せきて止めて清めてん
思想と科学と技術とに
いそむ健児ここにあり

4. 歴史の彼の高きとき
なやみの谷の深きとき
進め希望の星仰ぎ
我等が行くてここにあり

東海大学放送研究部 OB 会 第 19 回定期総会 出席者名

(カッコ内は卒業年度) 敬称略

佐藤誠(1962)、木村兼昭(1965)、久我谷裕(1965)、曾我泰朗(1965)、井上操(1966)、今宮克身(1966)、粕谷皓一(1966)、海津昭(1967)、佐藤一(1967)、瀬川良彦(1967)、橋本泰三郎(1968)、榎雅晴(1969)、矢崎貞和(1982)、坂代一郎(1983)、柏村英夫(1990)、村上祐(2014) 以上 16 名

15:00～16:00 総 会 議 事 次 第

会員状況報告

第1号議案 2024 年度 事業活動報告の件

第2号議案 2024 年度 決算報告・会計監査報告

第3号議案 「東海大学放送研究部 OB 会」解散の件

第4号議案 解散後の残務整理について

開会あいさつ

会長挨拶

東海大学放送研究部 OB 会会長 坂代 一郎

本日はお忙しい中お集まりいただき有難うございます。本日は OB 会の解散についての議題で話し合いをして頂く事となり、私としましては会長という立場として大変申し訳なく思っております。皆様方のご意見を頂き議論いただければと思います。よろしくお願いします。

【 議 事 】

会員状況報告

【 2023 年度／2024 年度 会員状況 】

	人 数	備 考
2023 年度 会員状況		
期首(2023 年度末)正会員	61 名	
2024 年度期中新入会員	4 名	
期末会員数	65 名	
退 会 会 員	13 名	2021 年度から 3 年間会費未納者(10 名)及び連絡先不明(2 名)、及び退会申出(1 名)
2024 年度末正会員数	52 名	

第 19 回定期総会の開催案内に対する回答 … 合計 32 通／61

《 出席 》… 18 通

《 欠席 》… 14 通

2025 年 7 月 10 日現在

第1号議案 2024年度 OB会事業・活動報告

(1) 役員会の開催内容

① 第1回 役員会 2024年7月21日(日) 15:30～17:30

場 所: 銀座ルノアール 秋葉原電気街口店 第2会議室

出席者: 坂代、柏村、佐藤(貴)、橋本 (敬称略) 以上4名

【主な審議内容】

- ・第18回定期総会総括
中澤浩さん(1990年卒)が講演された。演題:「テレビに未来はあるか」(クリエイターから見た)
中澤氏、大谷氏、中山氏、志牟田氏の計4名の方が入会された。
現ホームページの内容、更新について検討した。
- ・2024年度中の行事スケジュールを確認した

② 第2回 役員会 2024年10月6日(日) 10:00～12:00

場 所: Zoom オンライン

出席者: 坂代、常田、柏村、山田、佐藤(邦)、橋本(敬称略)

以上6名

【主な審議内容】

- ・建学祭(現役激励訪問及び“OB会ラウンジ”開設について)
- ・建学祭後現役のスケジュールを確認し、コミュニケーションを密に行なえるようにする。
- ・会員の住所変更などのメンテナンスが難しい。
メールアドレスを含め、きめ細かくフォローする。

③ 第3回 役員会 2025年1月18(土) 16:30～18:30

場 所: Zoom オンライン

出席者: 坂代、柏村、佐藤(邦)、佐藤(貴)、橋本(敬称略)

以上5名

【主な議事内容】

- ・建学祭ではOB会ラウンジの開設、現役の仮設スタジオ訪問をした。
- ・例年なら12月で現3年は引退だが、引続き部活動をフォローしてもらうことを確認した。
- ・OB会の解散について、会員の高齢化と共にOB会への参加意識の変化がみられる。
- ・解散を具体的に検討してはどうか。
- ・次回定期総会で役員の改選期となるが、現役員の中で体調を崩し継続困難な役員が複数いる。
- ・解散を見据え、会費の徴収は2024年度までとし、2025年度分の徴収は見送る。
- ・本日欠席の役員を含め、現役員の全員の意思を確認する。

④ 第4回 役員会 2025年5月11日(日) 14:30～17:00

場 所: Zoom オンライン

出席者: 坂代、柏村、佐藤(貴)、千葉、佐藤(邦)、橋本 (敬称略)

以上6名

【主な議事内容】

- ・OB会解散について、現役員の認識統一を確認した。
- ・FMカオンで番組「東海じゃん」の放送が本年3月末をもって終了した。
- ・以降、現役は制作した番組をネット配信(Spoon)で行っている模様。
- ・定期総会までの活動予定を確認した。

(2) 第 70 回建学祭(2024 年度)

① 放送研究部の仮設スタジオ訪問

日 時: 2024 年 11 月 1 日(木)12:00～14:00

場 所: 湘南校舎 1 号館



橋本事務局長が訪問した。

天気には恵まれたものの、建学祭全体の来訪客が少なく、放送研究部が 1 号館 1C - 301 教室に設けた仮設スタジオ訪れる人も少なかった。

訪れた時の現役の部員は、田代委員長。大熊 OB 連絡担当、横木部員、中島部員であった。

② OB 会ラウンジの開設

日 時: 2024 年 11 月 3 日(金) 11:00～15:30

場 所: 14 号館 409 教室 「OB 会ラウンジ」の開設。

・「ラウンジ」では茶・菓子を用意し、来訪した OB の皆様に気軽に寛いでいただける場所として開設しているものです。

今回は借りられる場所の決定が遅かったことで、周知不足もあり、来訪者が少な目であったが、昔の部活の様子などの話で和やかなひと時を過ごしました。

以 上

※ 拍手にて議案承認。

第2号議案 2024年度 決算報告及び監査報告の件

2024年度 会費収支決算書

自:2024年4月1日 至: 2025年3月31日

	項目	予算	実績	備考
収入の部	会 費			
	2023年度末正会員	220,000	152,500	61名 × @2,500
	2024年度新入会員		10,000	中澤浩()、大谷哲也()、志牟田美佐子()、中山智()
	雑収入			
	口座利息		23	
	寄付			
	収入合計	220,000	162,523	
支出の部	HP維持費	3,500	4,510	
	活動支援金(現役)	50,000	0	予算化したが、有効活用が出来ないとして辞退されたため未渡し
	講師謝礼	20,000	20,000	中澤浩 様
	通信費	30,000	10,416	郵便代他
	会議費	35,000	27,088	ZOOM使用料他
	消耗品費	10,000	8,399	プリンターインク, 用紙他
	交通費	15,000	0	
	懇親会補助	0	0	
	雑費	15,000	22,878	郵送通知料金、振込手数料、手土産代等
	予備費	0	0	
	特別損失		115,000	2021年度分以降の会費未納分を処理し、当該者12名は退会扱いとする。
	支出合計	178,500	208,291	
当期収支差額		49,000	-45,768	
前期繰越金		466,187	627,182	
次期繰越金		515,187	581,414	

2024年度 会費貸借対照表

自:2024 年 4 月 1 日 至:2025 年 3 月 31 日

資産の部			負債・剰余金の部		
科目	金額	摘要	科目	金額	摘要
現金・預金	578,914		未払金	0	
現金	38,286				
ゆうちょ普通口座	112,097				
振替口座	428,531				
未収入金	130,000			127,500	
2022 年度未収会費	30,000	12 名分	前納会費	127,500	2025 年度以降分 51 件
2023 年度 "	37,500	15 名分			
2024 年度 "	62,500	25 名分			
			前期繰越金	627,182	
			当期剰余金	-45,768	
			(次期繰越金	581,414	)
合計	708,914			708,914	

会 計 監 査 報 告 書

2024 年度の会計帳簿及び収支決算書について、帳簿ならびに関係証憑書類との照合の結果、適正に処理されていることを認めます。

2025 年 7 月 10 日

東海大学放送研究部 OB 会

監事

千葉公正  (印)

* 拍手にて議案承認。

第 3 号議案 東海大学放送研究部 OB 会の解散について

2025 年 5 月 28 日

東海大学放送研究部 OB 会
会員 各位

会長 坂代 一郎

東海大学放送研究部 OB 会の解散について(第1信)

当会は 2006 年に開かれた「創部 50 周年記念行事」を契機に、それまで「親睦会」であった OB 会から、正式に役員を置き、会費によって運営する「東海大学放送研究部 OB 会」として発足しました。以来これまで約 20 年運営されてきました。

過日(5/11)に行われた第4回役員会で、昨今の状況の大きな変化のなかで、「OB 会」の役割や会のあり方を見直す時期に来ているのではないかと、ということで議論を重ね、「放研 OB 会の解散」について次回の第 19 回定期総会に議題として正式に提案することを決めました。(総会の開催日時は、6 月下旬又は 7 月上旬で調整中です。近日中にあらためてご案内致します。)

合わせて、会費の徴収を当面 2024 年度分までとし、来年度 2025 年度の請求を見送ることにしました。(会計年度は当年 4 月 1 日から翌年 3 月 31 日まで)

突然このような提案を聞かれて、驚かれた会員の方も多いと思いますが、下記のような諸々の状況を受けての提案ですので、まずは受け止めた上でご意見を賜れば幸いです。

(この案内は郵送にて配布済みのものです。)

【放研 OB 会の取り巻く状況】

(1) 会員数の変化(減少)

2006 年(H18)当初会員数 46 名でスタート。2015 年(H27)に“卒部生”は原則として全員 OB 会へ加入するよう運用を改めたことで、会員数は順調に増加し 2019 年度に最高 127 名となりました。

しかしながら若い人たちの、放送研究部に対する帰属意識の変化もあり、“会員数”は増加しても、入会金だけ納入されて、次年度から毎年請求しても会費が納入されない、いわゆる“名目会員”が増えたため、会則(未納 3 年で資格を失う)を適用することになりました。2024 年度の会員数は 61 名と半減しています。加えて、特にコロナの流行以降の最近の“卒部者”が激減しているので、当面漸減傾向は続き、新規会員の増加はほとんど期待できる状況ではありません。

(2) OB 会々員の高齢化

当会会員の年齢層は、上は 80 歳台前半から 70 歳台の方を中心に、30 歳台までの方で構成されています。経年と共に構成会員も確実に高齢化しています。これまでに残念ながらお亡くなりになられた

り、ご高齢を理由に退会される会員がおられます。あるいは定年を迎え新たなステージを始められる方もいます。それぞれのご事情で、定期総会のご出席いただけない会員も増えつつあります。

(3) OB 会役員の固定化・高齢化

現在の役員のほとんどは、2016 年に開かれた第 10 回定期総会選任され、2024 年度中まで、3 期 9 年務めてきました。今年開かれる第 19 回定期総会で役員の改選期となります。OB 会員の若い層が増えないどころか減少しているなかで、新役員の選任、または若返りはほとんど望めません。

現在の役員のなかで、体調を崩していて継続がままならない方や、業務の都合などで役員会になかなか出席出来ない方がいます。今回の改選期にあたり、新しい役員の成り手を見つける見通しは立っていません。

(4) 新型コロナ以降の現役部活動

2019 年からの新型コロナの流行は、現役の部活動への大きな影響を与えています。一時期休講が続き対面での部活動が制限されるようになってからは、部員数が激減し、昨年 8 月現在で実働部員は、3 年生が 4 名、2 年生が 0 名、1 年生が 2 名の合計 6 名だけという状況です。

これまで主な部活動としては、FM カオン(<https://fmkaon.com/>)で毎週木曜日 20 時から1時間、『東海じゃん』という番組を放送研究部が行っていました。しかし商業放送なので、番組制作にあたり、著作権などの制約や用語の使い方の制限があり、思い通りの内容で制作出来ないことや、なにより部員数の減少で番組制作の負担が重くなったため、残念ながら今年3月末で終了しました。

現在はネットの配信プラットフォーム”Spoon”(ラジオ配信アプリ)を利用した番組制作と発信始めています。OB 会としての具体的支援は出来ませんが、今後も OB 各位におかれましても見守っていただければ幸いです。

(5) 放研 OB 会の解散に向けた手続き及び、解散後について

(5)-1 冒頭にふれたとおり、本年度(2025 年度)以降分の OB 会費の請求を見送ります。昨年度(2024 年度)会計は本年 3 月末で締めていますので、2024 年度決算書を作成します。

本年4月 1 日以降分(2025 年度)の入金、経費支出(会議費、郵送等の通信費、交通費など)については、次回定期総会開催直前までの分で決算し、収支残金があった場合の処分案をまとめて、第 19 回定期総会に諮り承認をいただきます。なお、OB 会費を前納されている分については、2025 年度以降の前納分を当該会員に返金します。

解散によるホームページの閉鎖ほか、諸々の案件は処理の方法等がまとまり次第順次お知らせしてまいります。

(5)-2 解散後は正式な「放研 OB 会」はなくなりますので、特に幹事役などを選任しません。

”卒部者”の氏名、卒業年度、住所が判っている人が約 380 名余りの名簿があります。中には、当 OB 会には未加入ですが、卒年同期又は近い仲間が、身近な親睦グループとして随時集まりをもっているグループもあるようです。これらは、正式な「放送研究部 OB 会」の存在は知りつつ、当会には加入しない、または加入してもらえないということがあるようです。こうした任意での集まりで放研で共に活動した”絆”、”スピリット”はこれからも受け継がれていくものと期待して止みません。

以上

【出席者からの意見および質疑応答】 ◎:会員の意見 ◆:役員の見解・回答

- ◎ 放研部員数の減少等、現状について(現役から)顧問の先生又は、学校当局と話し、認識を共有する必要がある。OB 会が直接関与することはないが、今後、どのように支援出来るかを考える必要がある。
OB 会自体はこれまでも、OB 会の加入者の若返りを図る試みは行ったものの、依然として出来ていない。
- ◎ 本当に万事を尽くした上での”解散”提案なのか。出来ることは未だあるのではないか？例えば校内放送を行う、コンテストなどに参加するなど、OB から現役に対するアドバイスを通じて、活動を再興する試みを出来ないものか。”解散”を決めることは簡単だが、部活動として作品の分野、作品の作り方などは多様だが。例えば他部(落研、音楽サークルなど)の発表会の中継などもひとつ。
- ◆ それも現役に話したことがあるが、部員数は 4 年が 2 名、2 年が 2 名で実働は 2 年生の 2 名だけ。それに加えてサークル活動に対する認識、意識が大きく変わっている
これまで放研として行ってきた活動が継承されず今の現役も何をすべきか模索状態か？ 我々の時代は、先輩からの活動の伝承がされてきた。
- ◎ 広報メディア学科では教科の一環としてスタジオをもって、ラジオ、テレビ番組の制作を行ったり。コンクールへの参加などもあるようだが、これと放研の活動は全く別物である。
現役支援というの、放送界をめざすというより、放送を楽しむといった方向を手助けするということに割り切らねばならないということか。
- ◆ 現役の活動を見ていると、作品発信の場として、ネットでの音声配信アプリ『Spoon』を利用して。ここでは、予め番組構成したものというより、自分の思いを番組にのせて発信することを楽しんでいるようだ。
- ◎ 現在の OB 会の活動として、年 1 回の総会と懇親会ぐらいしか活動がない。会報が作られている訳でもないならば OB 会とは何だろう。今日もそうだが、ある年代の方々に偏っている。また OB 会の運営の状況をみても、役員の中には体調を崩している人もあって、一部の役員に仕事が偏重しているという現状をみて、解散も致し方ないのかな、とも思う。OB 会のなかで、これまで築かれてきた懇親の絆を今後どう繋げるかを考える必要がある。
- ◎ 他のサークルとの交流、協業をもっと考えられないのか。他校との交流もないのか？
- ◎ 新入部員の勧誘は行っていないと聞いたが、もし放研部の継続が出来なくなった場合、塔屋 3 階の部室の整理をどうするか、ということも課題ではないか
- ◆ つい最近現役に尋ねたところ、部活の継続には前向きな様子だった。近いうち塔屋 3 階の様子を見に行きたい。
- ◎ 他校との交流は行われていないのか
- ◆ 現在は、他校との交流は全くないようだ
- ◎ 会費を集めて OB 会を運営するようになったのは 20 年前だが、その前は任意の親睦の場として、例えば創部○○周年などの機会に催しがあって、そこで親睦を深めていた。
- ◆ 今は個人情報保護で名簿づくりも困難になり、OB 会のような”会”に対する認識も薄まってきている。
残念ながら幹事の引き受け手も見つからない。
- ◎ OB 会解散後の OB の集まりは親睦会となると思うが、どのような形になるか示してほしい。OB 会解散の場合は 1 回/年で OB が集まれる様な形を検討してほしい。
- ◎ 現役のサークルが無くなれば OB 会も解散も止むなし。
- ◆ 解散が議決されれば、その後の課題を整理し結果は皆さんにご報告する。残務整理は橋本、坂代、佐藤(一)の 3 名で担当予定(第 4 号議案)。

本議案については、挙手にて採決した。

出席者有効数 … 出席者 16 名。

賛成:10 名 、 反対:3 名 、 棄権:3 名

・本議案は過半数で提案通り議決された。

第 4 号議案 解散後の残務整理について

1. 残務整理の主な項目

- イ 2025 年度分以降の前受預り金の当該者への返金
- ロ OB 会ホームページの閉鎖(プロバイダーとの契約解除・清算、保存すべきデータの選別・保管)
- ハ OB 会で管理している歴代部員名簿(約 380 名分)の管理
- ニ これらに係る通信費、消耗品費、雑費等諸費用の支出・管理
- ホ 関係先との各種折衝
- ヘ 処理状況の会員の皆さまへのお知らせ。
- ト 最終清算残金の有効活用の提案と処分

2. 残務整理担当者の選任

坂代一郎(OB 会会長)、橋本泰三郎(事務局長)、佐藤 一(前事務局長)
上記の 3 名で担当する

【出席者からの意見・質疑】

- ・OB 会の名簿をこれまで見たことが無い。なぜか？
会員が名簿を見ることが出来なかったことが衰退の一つの原因ではないか。
配布を希望する。
- ・名簿の配布に関し、残務整理担当者で検討する。
- ・残務整理より随時情報を元会員に展開することとした。

※ 拍手にて議案承認。

以 上